



八幡山の洋館 秋のばらフェスタ
秋のロマンティックコンサート
～哀愁のピアノトリオ～

2024年 10月 26日(土)

出演 岡田清香(ヴァイオリン) 白井彩(チェロ) 鈴木千帆(ピアノ)

会場 八幡山の洋館 開場 13:30 / 開演 14:00

参加費 3,500円(茶菓付き) 定員 60名(全席自由席)

曲目 A.ドボルザーク ピアノ三重奏曲 第3番 へ短調 作品65B.130

A. ピアソラ ブエノスアイレスの四季

申込方法 往復はがき、窓口、メール yokan7114@outlook.jp にて受付ます。

はがきで申し込みの方は、氏名・住所・電話番号・チケット枚数を明記し、
「コンサート申込係」宛てとして、お申込みください。





秋のばらフェスタ



岡田 清香 (おかだ さやか)

神奈川県出身。桐朋学園大学附属女子高等学校音楽科、カーティス音楽院(アメリカ)にて学び、日本センチュリー交響楽団(旧大阪センチュリー交響楽団)に首席第2ヴァイオリン奏者として入団。また、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団にて首席奏者として活躍し、その間大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などに首席客演。渡米しフォートワース交響楽団を経てサンアントニオ交響楽団に入団、18年間在籍。ソリストとしてサンアントニオ交響楽団と共演、また「東日本大震災復興支援コンサート」においてもソリストを務め、収益は日本赤十字社へ寄付された。これまでに青木博幸、小林久子、青木敦子、大谷康子、小林健次、ヤッシャ・プロドスキー、ジェイミー・ラレード各氏に師事。室内楽をフェリックス・ガリミア、ピーター・ウンジャン、マイケル・ツリー、パメラ・フランク各氏に師事。ビオラをジョセフ・デ・パスクアーレ氏に師事。現在は完全帰国し箱根に在住。富士山静岡交響楽団にて首席奏者として客演をはじめ、ソロ、室内楽、後進の指導にも力を入れている。「箱根アンサンブル」代表。



白井 彩 (しらい あや)

ヴァイオリニストの父の影響を受け、3歳よりピアノとヴァイオリンを始め、12歳でチェロに転向。15歳時、札幌ジュニアチェロコンクールにて奨励賞受賞。北鎌倉女子学園高等学校音楽科卒業。東京藝術大学卒業。同大学による室内楽定期演奏会に弦楽四重奏として出演。ハンガリー国立リスト音楽院マスター修了。選抜にて卒業試験リサイタルをリスト音楽院大ホールにて開催。また、同音楽院にて室内楽科ポストグラデュエイト課程においてもディプロマを取得し、オーケストラ、ソロのみならず、室内楽においても日本、ハンガリーにて活躍中。ハンガリー政府奨学金生。ハンガリーにてサヴァリア交響楽団、ブダペスト市立ズグロー交響楽団団員を経て、2020年3月に完全帰国。小田原フィルハーモニー交響楽団、湘南シンフォニエッタなど小田原付近のオーケストラとコンチェルトを度々共演。また2022年3月には、小田原三の丸ホールにて開館記念事業ホール企画・2日間別プログラムリサイタルと子ども向けコンサート「ゼロ弾きのアーヤ」3公演に挑戦し好評を得た。小田原ジュニア弦楽合奏団講師。二宮のアンサンブルラディアント音楽監督。小田原音楽連盟会長。



鈴木 千帆 (すずきちほ)

国立音楽大学ピアノ専攻卒業。東邦音楽総合芸術研究所伴奏法専攻修了。声楽の伴奏を中心としたアンサンブルで幅広く演奏活動を行い、数多くのソリストと共演。サンタ・マルゲリータ・リグレ国際オペラセミナー(伊)、サバウディア夏季音楽アカデミー(伊)にて演奏助手を務め、N. ボナヴォロンタ氏によるオペラマスタークラスを修了。イタリア音楽の演奏解釈について研鑽を積む。日本声楽家協会主催・二台ピアノオペラ全曲演奏会、歌曲研究会に参加。NPO 法人「音のいぶき」にてドイツ歌曲の演奏法、解釈を研究。日本演奏連盟会員。日本声楽家協会・コレペティトル専科在籍。平塚音楽家協会会員。

お問い合わせ

主催：八幡山の洋館(旧横浜ゴム平塚製造所記念館)

〒254-0041 神奈川県平塚市浅間町1-1 電話 0463-35-7114



hiratsuka-yokan1906.jp